

レカアノヨナダブ
忠実

(7=人)
レカアノヨナダブ
25:10:

北イスラエルの
子孫の者？
外人居留者
↓
返産の果

北イスラエル、エア-とと
アム(王朝(717)). パリ(はは)
ア5=40

250年後に守っている...

1 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの時、主からエレミヤに臨んだ言葉。

2 「レカブびとの家に行つて、彼らと語り、彼らを主の宮の一室に連れてきて、酒を飲ませなさい。」

3 そこで私はハバジニヤの子エレミヤの子であるヤザニヤと、その兄弟と、そのむすこたち、およびレカブびとの全家を連れ、

4 これを主の宮にあるハナンの子たちの室に連れてきた。ハナンはイグダリヤの子であつて神の人であつた。その室は、つかさたちの室の次にあつて、門を守るシャルムの子マアセヤの室の上にあつた。

5 私はレカブびとの前に酒を満したつぼと杯を置き、彼らに、「酒を飲みなさい」と言つたが、

6 彼らは答えた、「われわれは酒を飲みません。それは、レカブの子であるわれわれの先祖ヨナダブがわれわれに命じて、『あなたがたとあなたがたの子孫はいつまでも酒を飲んではならない。』

7 また家を建てず、種をまかず、またぶどう畑を植えてはならない。またこれを所有してはならない。あなたがたは生きながらえる間は幕屋に住んでいなさい。そうするならば、あなたがたはその宿っている地に長く生きることができると言つたからです。」

8 こうしてわれわれは、レカブの子であるわれわれの先祖ヨナダブがすべて命じた言葉に従つて、われわれも、妻も、むすこ娘も生きながらえる間、酒を飲まず、

9 住む家を建てず、ぶどう畑も種も持たないで、

10 幕屋に住み、すべてわれわれの先祖ヨナダブがわれわれに命じたところに従い、そのように行いました。

11 しかしバビロンの王ネブカデレザルがこの地の上つてきた時、われわれは言いました、「さあ、われわれはエルサレムへ行こう。カルデアびとの軍勢とスリヤびとの軍勢が恐ろしい」と。こうしてわれわれはエルサレムに住んでいるのです。」

#5. (7:10)
(出20:1, エ9:6)

私の命令を聞きなさい

私の宣告を聞いて、
患の道から歸れ。
主の
御名

ネハミヤ3:14
レカアノヨナダブ
アム(王朝)

12 その時、主の言葉がエレミヤに臨んだ、

13 「万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、行つて、ユダの人々とエルサレムに住む者とに告げよ。主は仰せられる、あなたがたは私の言葉を聞いて教を受けな

14 レカブの子ヨナダブがその子孫に酒を飲むと命じた言葉は守られてきた。彼らは今日に至るまで酒を飲まず、その先祖の命に従つてきた。ところがあなたがたは私がしきりに語つたけれども、私に聞き従わなかつた。

15 私はまた、私のしもべである預言者たちを、しきりにあなたがたにつかわれて言させた、「あなたがたは今のおのその悪い道を離れ、その行いを改めなさい。ほかの神々に従い仕えてはならない。そうすれば、あなたがたは私があなたがたと、あなたがたの先祖に与えたこの地に住むことができると。しかしあなたがたは耳を傾けず、私に聞かなかつた。

16 レカブの子ヨナダブの子孫は、その先祖が彼らに命じた命令を守つていたのである。しかしこの民は私に従わなかつた。

17 それゆえ万軍の神、主、イスラエルの神はこう仰せられる、見よ、私はユダとエルサレムに住む者にと、私が彼らの上に宣告した災を下す。私が彼らに語つても聞かず、彼らを呼んでも答えなかつたからである。」

18 ところでエレミヤはレカブびとの家の人々に言つた、「万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、あなたがたは先祖ヨナダブの命に従い、そのすべての戒めを守り、彼があなたがたに命じた事を行った。

19 それゆえ、万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、レカブの子ヨナダブには、私の前に立つ人がいつまでも欠けることはない。」



断食の日 (ゼカ18:19)

正しい宣告の巻物 書き記す

ネバデネバの1年 ↑

主の宮で民に

エレミヤ書36
 1 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年に主からこの言葉がエレミヤに臨んだ。
 2 「あなたは巻物を取り、私があなたに語つた日、すなわちヨシヤの日から今日に至るまで、イスラエルとユダと万国とに關してあなたに語つたすべての言葉を、それにしるしなさい。
 3 ユダの家が私の下そうとしてゐるすべての災を聞いて、おのおのその悪い道を離れて帰ることもあろう。そうすれば、私はそのとがとその罪をゆるすかも知れない」。
 4 そこでエレミヤはネリヤの子バルクを呼んだ。バルクはエレミヤの口述にしたがつて、主が彼にお告げになつた言葉をことごとく巻物に書きしるした。
 5 そしてエレミヤはバルクに命じて言つた、「私は主の宮に行くことを妨げられている。
 6 それで、あなたが行つて、断食の日に主の宮で、すべての民が聞いているところで、あなたが私の口述にしたがつて、巻物に筆記した主の言葉を読みなさい。またユダの人々がその町々から来て聞いているところで、それを読みなさい。
 7 彼らは主の前に祈願をささげ、おのおのその悪い道を離れて帰ることもあろう。主がこの民に対して宣告された怒りと憤りは大きいからである」。
 8 こうしてネリヤの子バルクはすべて預言者エレミヤが自分に命じたように、主の宮で、その巻物に書かれた主の言葉を読んだ。
 エレミヤ書36
 9 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの五年九月、エルサレムのすべての民と、ユダの町々からエルサレムに來たすべての民とは、主の前に断食を行うべきことを告げ示された。
 10 バルクは主の宮の上の庭で、主の宮の新しい門の入口のかたわらにある書記シャパンの子であるゲマリヤのへやで、巻物に書かれたエレミヤの言葉をすべての民に読み聞かせた。
 11 シャパンの子であるゲマリヤの子ミカヤはその巻物にある主の言葉をことごとく聞いて、
 12 王の家にある書記のへやに下つて行くと、もろもろのつかさたち、すなわち書記エリシヤマ、シマヤの子デラヤ、アカボルの子エルナタン、シャパンの子ゲマリヤ、ハナニヤの子ゼデキヤおよびすべてのつかさたちがそこに座していた。
 13 ミカヤはバルクが民に巻物を読んで聞かせたとき、自分の聞いたすべての言葉を彼らに告げたので、
 14 つかさたちはクシの子セレミヤの子であるネタニヤの子エホデをバルクのもとにつかわして言させた、「あなたが民に読み聞かせたその巻物を手に取つて、来てください」。そこでネリヤの子バルクは巻物を手に取つて、彼らのもとに來たので、
 15 彼らはバルクに言つた、「座してそれを読んでください」。バルクはそれを彼らに読みかかせた。
 16 彼らはそのすべての言葉を聞き、恐れて互に見かまし、バルクに言つた、「われわれはこのすべての言葉を、王に報告しなければならぬ」。
 17 そしてバルクに尋ねて言つた、「このすべての言葉を、あなたがどのようにして書いたのか話してください。彼の口述によるのですか」。
 18 バルクは彼らに答えた、「彼が私にこのすべての言葉を口述したので、私はそれを墨汁で巻物に書いたのです」。
 19 つかさたちはバルクに言つた、「行つて、エレミヤと一緒に身を隠しなさい。人に所在を知られてはなりません」。

ヨシヤの子と王の所にて

エレミヤ書36:1-19

1:-19:+26:にむいせびとほきいてし

悪い道

ヨデヤ 2回7:14
 ヨシヤ 2回34:
 ヤロアブム 1回13:33

エレミヤ 7:-19:

エレミヤ書36
 20 そこで彼らは巻物を書記エリシヤマのへやに置いて庭にはいり、王のもとへ行つて、このすべての言葉を王に告げたので、
 21 王はその巻物を持つてこさせるためにエホデをつかわした。エホデは書記エリシヤマのへやから巻物を取つてきて、それを王と王のかたわらに立つてゐるすべてのつかさたちに読みかかせた。
 22 時は九月であつて、王は冬の家に座していた。その前に炬があつて火が燃えていた。
 23 エホデが三段か四段を読むと、王は小刀をもつてそれを切り取り、炬の火に投げ入れ、ついに巻物全部を炬の火で焼きつくした。
 24 王とその家來たちはこのすべての言葉を聞いても恐れず、またその着物を裂くこともしなかつた。
 25 エルナタン、デラヤおよびゲマリヤが王にその巻物を焼かないようにと願つたときにも彼は聞きいれなかつた。
 26 そして王は王子エラメルとアヅリエルの子セラヤとアブデルの子セレミヤに、書記バルクと預言者エレミヤを捕えるようにと命じたが、主は彼らを隠された。
 エレミヤ書36
 27 バルクがエレミヤの口述にしたがつて筆記した言葉を載せた巻物を王が焼いた後、主の言葉がエレミヤに臨んだ。
 28 「他の巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた、前の巻物のうちにある言葉を皆それに書きしるしなさい。
 29 またユダの王エホヤキムについて言いなさい、『主はこう仰せられる、あなたはこの巻物を焼いて言つた、どうしてあなたはこの巻物を焼いて言つた、来てこの地を滅ぼし、ここから人と獣とを絶やす、と書いたのか』と。
 30 それゆゑ主はユダの王エホヤキムについてこう言われる、彼の子孫にはグビデの位にすわる者がなくなる。また彼の死体は捨てられて昼は暑さにあい、夜は霜にあう。
 31 私はまた彼とその子孫とその家來たちをその罪のために罰する。また彼らとエルサレムの民とユダの人々には災を下す。この災のことについては、すでに語つたけれども、彼らは聞くことをしなかつた」。
 32 そこでエレミヤは他の巻物を取り、ネリヤの子書記バルクに与えたので、バルクはユダの王エホヤキムが火にくべて焼いた巻物のすべての言葉を、エレミヤの口述にしたがつてそれに書きしるし、また同じような言葉を多くそれに加えた。

悪い道を書きしるす

巻物を焼く

ペテロ? 31年18:18 18:20



歴代誌第二34

- 1 ヨシヤは八歳のとき王となり、エルサレムで三十一年の間世を治めた。
- 2 彼は主の良しと見られることをなし、その父ダビデの道歩んで、右にも左にも曲らなかつた。
- 3 彼はまだ若かつたが、その治世の第八年に父ダビデの神を求め、その十二年には高き所、アシラ像、刻んだ像、鍍た像などを除いて、ユダとエルサレムを清めることを始め、
- 4 もろもろのバアルの祭壇を、自分の前で打ちこわさせ、その上に立っていた香の祭壇を切り倒し、アシラ像、刻んだ像、鍍た像を打ち砕いて粉々にし、これらの像に犠牲をささげた者どもの墓の上にそれをまき散らし、
- 5 祭司らの骨をそのもろもろの祭壇の上で焼き、こうしてユダとエルサレムを清めた。
- 6 またマナセ、エフライム、シメオンおよびナフタリの荒れた町々にもこのようにし、
- 7 もろもろの祭壇をこわし、アシラ像およびもろもろの刻んだ像を粉々に打ち砕き、イスラエル全国の香の祭壇をことごとく切り倒して、エルサレムに帰つた。
- 8 ヨシヤはその治世の十八年に、国と宮とを清めた時、その神、主の宮を繕わせようと、アザリヤの子シャパン、町のつかさマアセヤおよびヨアハズの子史官ヨアをつかわした。
- 9 彼らは大祭司ヒルキヤのもとへ行つて、神の宮にはいつた金を渡した。これは門を守るレビびとがマナセ、エフライムおよびその他のすべてのイスラエル、ならびにユダとベニヤミンのすべての人、およびエルサレムの住民の手から集めたものである。
- 10 彼らはこれを主の宮を監督する職工らの手に渡したので、主の宮で働く職工らは、これを宮を繕い直すために支払つた。
- 11 すなわち、大工および建築者にこれを渡して、ユダの王たちが破つた建物のために、切り石および骨組の材木を買わせ、梁材を整えさせた。
- 12 その人々は忠実に仕事をした。その監督者はメラリの子孫であるレビびとヤハテとオバデヤ、およびコハテびとの子孫であるゼカリヤとメシラムであつて、工事をつかさどつた。また楽器に巧みなレビびとがこれに伴つた。
- 13 彼らはまた荷を負う者を監督し、様々の仕事に働くすべての者をつかさどつた。また他のレビびとは書記となり、役人となり、また門衛となつた。
- 14 さて彼らが主の宮にはいつた金を取りだした時、祭司ヒルキヤはモーセの伝えた主の律法の書を発見した。
- 15 そこでヒルキヤは書記官シャパンに言つた、「私は主の宮で律法の書を発見しました」と。そしてヒルキヤはその書をシャパンに渡した。
- 16 シャパンはその書を王のもとに持つて行き、さらに王に復命して言つた、「しもべらはゆだねられた事をことごとくなし、
- 17 主の宮にあつた金をあけて、監督者の手および職工の手に渡しました」。
- 18 書記官シャパンはまた王に告げて、「祭司ヒルキヤは私に一つの書物を渡しました」と言い、シャパンはそれを王の前で読んだ。
- 19 王はその律法の言葉を聞いて衣を裂いた。
- 20 そして王はヒルキヤおよびシャパンの子アヒカムとミカの子アブドンと書記官シャパンと王の家来

書記シャパンが読む 発見した律法に於けるヨシヤの応答

エシヤ26:24
エシヤを守り

- アサヤとに命じて言つた、
- 21 「あなたがたは行つて、この発見された書物の言葉について私のために、またイスラエルとユダの残りの者のために主に問いなさい。われわれの先祖たちが主の言葉を守らず、すべてこの書物にしろされて、このことを行わなかつたので、主はわれわれに大いなる怒りを注がれるからです」。
- 22 そこでヒルキヤおよび王のつかわした人々は、シャルムの妻である女預言者ホルダのもとへ行つた。シャルムはハスラの子であるトクハテの子で、衣装を守る者である。時にホルダは、エルサレムの第二区に住んでゐた。彼らはホルダにその趣意を語つたので、
- 23 ホルダは彼らに言つた、「イスラエルの神、主はこう仰せられます、「あなたがたを私につかわした人に告げなさい。
- 24 主はこう仰せられます。見よ、私はユダの王の前で読んだ書物にしろされているもろもろののろい、すなわち災をこの所と、ここに住む者に下さつた。
- 25 彼らは私を捨て、他の神々に香をたき、自分の手で造つたもろもろの物をもつて、私の怒りを引き起そうとしたからである。それゆゑ、私の怒りは、この所に注がれて消えない。
- 26 しかしあなたがたをつかわして、主に問わせるユダの王にはこう言いなさい。イスラエルの神、主はこう仰せられる。あなたが聞いた言葉については、
- 27 この所と、ここに住む者を責める神の言葉を、あなたが聞いた時、心に悔い、神の前に身をひくくし、私の前にへりくだり、衣を裂いて、私の前に泣いたので、私もまた、あなたに聞いた、と主は言われる。
- 28 見よ、私はあなたを先祖たちのもとに集める。あなたは安らかにあなたの墓に集められる。あなたは私がこの所と、ここに住む者に下さるもろもろの災を目に見ることがない」と。彼らは王に復命した。
- 29 そこで王は人をつかわしてユダとエルサレムの長者をことごとく集め、
- 30 そして王は主の宮に上つて行つた。ユダのすべての人々、エルサレムの住民、祭司、レビびと、およびすべての民は、若い者も若い者もことごとく彼に従つた。そこで王は主の宮で発見した契約の書の言葉を、ことごとく彼らの耳に読み聞かせ、
- 31 そして王は自分の所に立つて、主の前に契約を立て、主に従つて歩み、心をつくし、精神をつくして、その戒めと、あかしと定めとをまもり、この書にしろされた契約の言葉を行おうと言ひ、
- 32 エルサレムおよびベニヤミンの人々を皆これに加わらせた。エルサレムの住民は先祖の神であるその神の契約にしたがつて行つた。
- 33 ヨシヤはイスラエルの人々に属するすべての地から、憎むべきものをことごとく取り除き、イスラエルにいるすべての人をその神、主に仕えさせた。ヨシヤが世にある日の間は、彼らは先祖の神、主に従つて離れなかつた。

↑
YD EY H A 書記
2歴7:14



列王記第二22

1 ヨシヤは八歳で王となり、エルサレムで三十一年の間、世を治めた。母はボツカテのアダヤの娘で、名をエデダと叫んだ。

2 ヨシヤは主の目にかなう事を行い、先祖ダビデの道に歩んで右にも左にも曲らなかつた。

3 **ヨシヤ王の第十八年に**王はメシラムの子アザリヤの子である書記官シャパンを主の宮につかわして言った、

4 「大祭司ヒルキヤのもとへのほつて行つて、主に宮にはいつてきた銀、すなわち門を守る者が民から集めたものの総額を彼に数えさせ、

5 それを工事をつかさどる主の宮の監督者の手に渡させ、彼らから主の宮で工事をする者にそれを渡して、宮の破れを繕わせなさい。

6 すなわち木工と建築師と石工にそれを渡し、また宮を繕う材木と切り石を買わせなさい。

7 ただし彼らは正直に事を行うから、彼らに渡した銀については彼らと計算するに及ばない」。

8 その時大祭司ヒルキヤは書記官シャパンに言った、「私は主の宮で律法の書を見つけました」。そしてヒルキヤがその書物をシャパンに渡したので、彼はそれを読んだ。

9 書記官シャパンは王のもとへ行き、王に報告して言った、「しもべどもは宮にあつた銀を皆出して、それを工事をつかさどる主の宮の監督者の手に渡しました」。

10 書記官シャパンはまた王に告げて「祭司ヒルキヤは私に一つの書物を渡しました」と言い、それを王の前で読んだ。

11 王はその律法の書の言葉を聞くと、その衣を裂いた。12 そして王は祭司ヒルキヤと、シャパンの子アヒカムと、ミカヤの子アクボルと、書記官シャパンと、王の大匠アサヤとに命じて言った、

13 「あなたがたは行つて、この見つかつた書物の言葉について、私のため、民のため、またユダ全国のために主に尋ねなさい。われわれの先祖たちがこの書物の言葉に聞き従わず、すべてわれわれについてしるされてゐる事を行わなかつたために、主はわれわれにむかつて、大いなる怒りを発しておられるからです」。

14 そこで祭司ヒルキヤ、アヒカム、アクボル、シャパンおよびアサヤはシャルムの妻である女預言者ホルダのもとへ行つた。シャルムはハルハスの子であるテクワの子で、衣装ベヤを守る者であつた。その時ホルダはエルサレムの下町に住んでゐた。彼らがホルダに告げたので、

15 ホルダは彼らに言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられます、「あなたがたを私につかわした人に言いなさい」。

16 主はこう言われます、見よ、私はユダの王が読んだあの書物のすべての言葉にしたがつて、災をこの所と、ここに住んでゐる民に下そうとしてゐる。

17 彼らが私を捨てて他の神々に香をたき、自分たちの手で作つたもろもろの物をもつて、私を怒らせたからである。それゆゑ、私はこの所にむかつて怒りの火を發する。これは消えることがないであらう」。

18 ただし主に尋ねるために、あなたがたをつかわしたユダの王にはこう言いなさい、「あなたが聞いた言葉についてイスラエルの神、主はこう仰せられます、

19 あなたは、私がこの所と、ここに住んでゐる民にむかつて、これは荒地地となり、のろいとなるであらうと言

うのを聞いた時、心に悔い、主の前にへりくだり、衣を裂いて私の前に泣いたゆゑ、私もまたあなたの言うことを聞いたのであると主は言われる。
20 それゆゑ、見よ、私はあなたを先祖たちのもとに集める。あなたは安らかに墓に集められ、私がこの所に下すもろもろの災を目に見ることはないであらう」。
彼らはこの言葉を王に持ち帰つた。



ソロモン神殿奉獻への主からの答へ (2歴代7:*)

2018.10.11

の3い

祝福

#1 #3 #3 #1
#2a #4 #4 #2a

#1
#2b

#3 あむかみの主の名 (Ex 34)
#4 祈の所

歴代誌第7:7
 11 こうしてソロモンは主の家と王の家とを造り終えた。すなわち彼は主の家と自分の家について、しようと計画したすべての事を首尾よくなし遂げた。
 12 時に主は夜ソロモンに現れて言われた、「私はあなたの祈を聞き、この所を私のために選んで、犠牲をささげる家とした。
 13 私が天を閉じて雨をなくし、または私がいなごに命じて地の物を食わせ、または疫病を民の中に送るとき、
 14 私の名をもってとなえられる私の民が、もしへりくだり、祈って、私の顔を求め、その悪い道を離れるならば、私は天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす。
 15 今この所にささげられる祈に私の目を開き、耳を傾ける。
 16 今私は私の名をなくここにどめるために、この宮を選び、かつ聖別した。私の目と私の心は常にここにある。
 17 あなたがもし父ダビデの歩んだように私の前に歩み、私が命じたとおりにすべて行って、私の定めとおきてとを守るならば、
 18 私はあなたの父ダビデに契約して「イスラエルを治める人はあなたに欠けることがない」と言つたとおりに、あなたの王の位を堅くする。
 19 しかし、あなたがたがもし翻って、私があなたがたの前に置いた定めと戒めとを捨て、行って他の神々に仕え、それを拝むならば、
 20 私はあなたがたを私の与えた地から抜き去り、また私の名のために聖別したこの宮を私の前から投げ捨てて、もろもろの民のうちにとわざとし、笑い草とする。
 21 またこの宮は高いけれども、ついには、そのかたわらを過ぎる者は皆驚いて、「何ゆえ主はこの地と、この宮とにこのようにされたのか」と言うであろう。
 22 その時、人々は答えて「彼らはその先祖たちをエジプトの地から導き出した彼らの神、主を捨てて、他の神々につき従い、それを拝み、それに仕えたために、主はこのすべての災を彼らの上に下したのである」と言うであろう。」

#1 地宮 #4 地宮 #3

良い道 vs 悪い道

* 134E9: 同じ構造

書記バルクの救い

エレミヤ
45

- 1 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年に、ネリヤの子バルクがこれらの言葉をエレミヤの口述にしたがって書に記した時、預言者エレミヤが彼に語った言葉、
- 2 「バルクよ、イスラエルの神、主はあなたについてこう言われる、
- 3 あなたはかつて、『ああ、私はわざわいだ、主が私の苦しみと悲しみをお加えになった。私は嘆き疲れて、安息が得られない』と言った。
- 4 あなたはこう彼に言いなさい、主はこう言われる、見よ、私は自分で建てたものをこわし、自分で植えたものを抜いている——それは、この全地である。
- 5 あなたは自分のために大いなる事を求めるのか、これを求めてはならない。見よ、私はすべての人に災を下そうとしている。しかしあなたの命はあなたが行くすべての所で、ぶんどり物としてあなたに与えると主は言われる」。

書記バルクは守らゆ子
(エレミヤ書と書く)



1 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムが世を治めた初めのころ、主からこの言葉があった、
 2 「主はこう仰せられる、主の宮の庭に立ち、私があなたに命じて言わせるすべての言葉を、主の宮で礼拝するために来ているユダの町々の人々に告げなさい。ひと言も言い残しておいてはならない。
 3 彼らが聞いて、おのおのその悪い道を離れることがあるかも知れない。そのとき、私は彼らの行いの悪いために、災を彼らに言いなさい、
 4 あなたは彼らに言いなさい、「主はこう仰せられる、もしあなたがたが私に聞き従わず、私があなたがたの前に定めおいた律法を行わず、
 5 私があなたがたに、しきりにつかわす私のしもべである預言者の言葉に聞き従わないならば、(あなたがたは聞き従わなかったが、)
 6 私はこの宮をシロのようにし、またこの町を地の万国にのろわれるものとする」。

シロのように

7 祭司と預言者およびすべての民は、エレミヤが主の宮でこれらの言葉を語るのを聞いた。
 8 エレミヤが主に命じられたすべての言葉を民に告げ終った時、祭司と預言者および民はみな彼を捕えて言った、「あなたは死ななければならぬ。
 9 なぜあなたは主の名によつて預言し、この宮はシロのようになり、この町は荒されて住む人もなくなるであろうと言ったのか」と。民はみな主の宮に集まつてエレミヤを取り囲んだ。
 10 ユダのつかさたちはこの事を聞いて王の宮殿を出て主の宮に上り、主の宮の「新しい門」の入口に座した。
 11 祭司と預言者らは、つかさたちとすべての民に訴えて言った、「この人は死刑に処すべき者です。あなたがたが自分の耳で聞かれたように、この町に逆らう預言をしたのです」。

エレミヤを捕え、宮はシロ、預言者ウリヤを殺す、エジプト

預言者を殺す、シロのよう

12 その時エレミヤは、つかさたちとすべての民に言った、「主は私をつかわし、この宮とこの町にむかつて、預言をさせられたので、そのすべての言葉をあなたがたは聞いた。
 13 それで、あなたがたは今、あなたがたの道と行いを改め、あなたがたの神、主の声に聞き従いなさい。そうするならば主はあなたがたに災を下そうとしたことを思いなおされる。
 14 見よ、私はあなたがたの手の手の中にある。あなたがたの目に、良いと見え、正しいと思うことを私に行うがよい。
 15 ただ明らかにこのことを知っておきなさい。もしあなたがたが私を殺すならば、罪なき者の血はあなたがたの身と、この町と、その住民とに帰する。まことに主が私をつかわして、このすべての言葉をあなたがたの耳に、告げさせられたからである」。

16 つかさたちと、すべての民とは、祭司と預言者に言った、「この人は死刑に処すべき者ではない。われわれの神、主の名によつてわれわれに語つたのである」。
 17 その時この地の長老たち数人が立つて、そこに集まつていすすべての者に告げて言った、
 18 「ユダの王ヒゼキヤの世に、モレシテびとミカはユダのすべての民に預言して言った、『万軍の主はこう仰せられる、シオンは畑のように耕され、エルサレムは石塚となり、
 19 宮の山は木のおい茂る高い所となる』。
 20 主の名によつて預言した人がほかにもあった。すなわちキリアテ・ヤリムのシマヤの子ウリヤである。彼はエレミヤとおなじような言葉をもつて、この町とこの地にむかつて預言した。
 21 エホヤキム王と、そのすべての勇士と、すべてのつかさたちはその言葉を聞いた。そして王は彼を殺そうと思つたが、ウリヤはこれ聞いて恐れ、エジプトに逃げに行ったので、
 22 エホヤキム王は人をエジプトにつかわした。すなわちアクボルの子エルナタンと他の数名の人を、エジプトにつかわした。
 23 彼らはウリヤをエジプトから引き出し、エホヤキム王のもとに連れてきたので、王はつるぎをもつて彼を殺し、その死体を共同墓地に捨てさせた。
 24 しかしシヤパンの子アヒカムはエレミヤを助け、民の手に渡されて殺されることのないようにした」。

2歴34: 25422: 律法書 再発見の書記

